

令和4年度 第4回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月17日（金） 14時15分から16時まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、平賀 むつみ、古尾 春子、馬場 真弓、山本 巖、  
向坂 美保、奥山 和子
- 4 欠席委員 笹野 訓子、鈴木 千穂、月花 明生
- 5 オブザーバー 澤木 克彦（佐久間協働センター地域振興グループ長）  
林 利明（社会福祉協議会地域代表）  
坂口 ひろみ（民生委員・児童委員）
- 6 学 校 恩田 好雄（校長）、瀬戸 一志（教頭）、高原 英樹（教務）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項

（1）学校運営協議会活動報告

- ・グラウンドの環境整備（動物の落とし物一掃作戦）
- ・生徒の作品の地域での展示
- ・家庭科のお弁当づくりと地域での販売

（2）学校運営協議会自己評価

- ・学校評価結果報告、学校関係者評価
- ・学校運営協議会自己評価

（3）熟議

- ・日本の教育が抱える課題と来年度の佐久間中の教育構想
- ・熟議「自らの学びを自らで創り上げる生徒に育てるための授業はどうあるべきか？」

10 会議録作成者 CSディレクター 海賀 志美

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、会長が議長として議事を進行してもらう旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（1）熟議

議長の指示により、校長から、日本の教育が抱える課題と来年度の佐久間中の教育構想について説明があり、協議の結果、来年度の佐久間中の教育構想について全員異議なくこれを承認した。

議長の指示により、日本の教育が抱える課題をふまえ「自らの学びを自らで創り上げる生徒に育てるための授業はどうあるべきか？」について3グループに分かれ、協議した。

各グループの協議の結果から、全体に以下のような課題が提示された。

○Aグループ（高氏・奥山）

- ・一斉授業は善か悪か？ 基礎・基本の習得の場面での一斉指導は必要なはず。目的や内容によって最適な指導形態で進めてほしい。
- ・高校入試や大学入試が変わっていかねば引き続き記憶再生型の学力が重視されるため、それらを授業で扱う・指導するための一斉指導への偏重という現状はなかなか変わらないだろう。

○Bグループ（平賀・向坂・林・澤木）

- ・昔の子育てと今の子育てのあり方が大きく変化している。昔のあり方に慣れ親しんだ年代の者からすると、すんなり「こう変えていくべき」という見方になかなかならない。それぞれにそれなりの良さがあると思うのだが。
- ・社会の変化もあり、対応できる能力を身に付けるためにも、授業での生徒の学習のあり方を、他律から自律へと転換させていくことは大切であり、進めていってほしい。

○Cグループ（古尾・馬場・坂口・山本）

- ・キーワードは「選択」である。与えられた課題を画一的に学習するのではなく、課題や手段等を「選択」する余地を常に保障していくことが、教師に求められていると思う。

議長が、日本の教育が抱える課題に対応すべく、承認された来年度の佐久間中の教育構想を実施するにあたり協議会としてはできることを惜しみなく協力をしていくことと、教員には今後上記課題を意識しつつ自らの学びを自らで創り上げる生徒を育てる学習指導が実施できるよう研修を求めることの2点を確認し、熟議のまとめとした。